

## 科目区分：共通基礎科目

授業科目名	教 養 特 別 講 義					学期	曜 日	校 時																																																																											
英 語 名	Colloquium																																																																																		
担 当 教 員 名	高 橋 眞 司 近 藤 寛 山 口 恭 弘	単 位 数	2 単 位	必 修 選 択	必 修	前 期	水 曜 日	3 校 時																																																																											
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法																																																																																			
<p>学長、副学長および名誉教授による特別講演により、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、「長崎」、「平和」および「海洋と文化」の各講義より、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深める。以上について学ぶことは、今後長崎大学で学ぶ各々の専門分野における学問的素養の一つとなることを期待する。</p>																																																																																			
テ キ ス ト 、 教 材 等																																																																																			
<p>長 崎：地図、図表などの資料や簡単な作図などの教材を配布する。            平 和：『長崎にあつて哲学する—核時代の死と生』北樹出版，1994年            『続・長崎にあつて哲学する—原爆死から平和責任へ』北樹出版，2004年            海洋と文化：釣民講座（長崎新聞2002.6～現在，隔週木曜日），パワーポイント，OHP，配付資料を適宜使用する。</p>																																																																																			
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 員 研 究 室																																																																													
M12・P19	講義への主体的参加、授業内外のレポートを総合的に勘案して評価する。																																																																																		
授 業 計 画																																																																																			
<p>授業計画</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">第 1 回</td> <td style="width: 15%;">4 月 12 日</td> <td style="width: 30%;">特別講演</td> <td style="width: 15%;">齋藤 寛</td> <td style="width: 30%;">(学長)</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>4 月 19 日</td> <td>海洋と文化</td> <td>山口 恭弘</td> <td>(水産)</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>4 月 26 日</td> <td>海洋と文化</td> <td>山口 恭弘</td> <td>(水産)</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>5 月 10 日</td> <td>海洋と文化</td> <td>山口 恭弘</td> <td>(水産)</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>5 月 17 日</td> <td>特別講演</td> <td>三矢 泰彦</td> <td>(名誉教授)</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>5 月 24 日</td> <td>特別講演</td> <td>岩永 浩</td> <td>(名誉教授)</td> </tr> <tr> <td>第 7 回</td> <td>6 月 7 日</td> <td>平和</td> <td>高橋 眞司</td> <td>(教育)</td> </tr> <tr> <td>第 8 回</td> <td>6 月 14 日</td> <td>平和</td> <td>高橋 眞司</td> <td>(教育)</td> </tr> <tr> <td>第 9 回</td> <td>6 月 21 日</td> <td>平和</td> <td>高橋 眞司</td> <td>(教育)</td> </tr> <tr> <td>第 10 回</td> <td>6 月 28 日</td> <td>特別講演</td> <td>水田善次郎</td> <td>(名誉教授)</td> </tr> <tr> <td>第 11 回</td> <td>7 月 5 日</td> <td>特別講演</td> <td>北川 常廣</td> <td>(名誉教授)</td> </tr> <tr> <td>第 12 回</td> <td>7 月 12 日</td> <td>長崎</td> <td>近藤 寛</td> <td>(教育)</td> </tr> <tr> <td>第 13 回</td> <td>7 月 19 日</td> <td>長崎</td> <td>近藤 寛</td> <td>(教育)</td> </tr> <tr> <td>第 14 回</td> <td>7 月 26 日</td> <td>長崎</td> <td>近藤 寛</td> <td>(教育)</td> </tr> <tr> <td>第 15 回</td> <td>8 月 2 日</td> <td>特別講演</td> <td>福永 博俊</td> <td>(理事)</td> </tr> </table>									第 1 回	4 月 12 日	特別講演	齋藤 寛	(学長)	第 2 回	4 月 19 日	海洋と文化	山口 恭弘	(水産)	第 3 回	4 月 26 日	海洋と文化	山口 恭弘	(水産)	第 4 回	5 月 10 日	海洋と文化	山口 恭弘	(水産)	第 5 回	5 月 17 日	特別講演	三矢 泰彦	(名誉教授)	第 6 回	5 月 24 日	特別講演	岩永 浩	(名誉教授)	第 7 回	6 月 7 日	平和	高橋 眞司	(教育)	第 8 回	6 月 14 日	平和	高橋 眞司	(教育)	第 9 回	6 月 21 日	平和	高橋 眞司	(教育)	第 10 回	6 月 28 日	特別講演	水田善次郎	(名誉教授)	第 11 回	7 月 5 日	特別講演	北川 常廣	(名誉教授)	第 12 回	7 月 12 日	長崎	近藤 寛	(教育)	第 13 回	7 月 19 日	長崎	近藤 寛	(教育)	第 14 回	7 月 26 日	長崎	近藤 寛	(教育)	第 15 回	8 月 2 日	特別講演	福永 博俊	(理事)
第 1 回	4 月 12 日	特別講演	齋藤 寛	(学長)																																																																															
第 2 回	4 月 19 日	海洋と文化	山口 恭弘	(水産)																																																																															
第 3 回	4 月 26 日	海洋と文化	山口 恭弘	(水産)																																																																															
第 4 回	5 月 10 日	海洋と文化	山口 恭弘	(水産)																																																																															
第 5 回	5 月 17 日	特別講演	三矢 泰彦	(名誉教授)																																																																															
第 6 回	5 月 24 日	特別講演	岩永 浩	(名誉教授)																																																																															
第 7 回	6 月 7 日	平和	高橋 眞司	(教育)																																																																															
第 8 回	6 月 14 日	平和	高橋 眞司	(教育)																																																																															
第 9 回	6 月 21 日	平和	高橋 眞司	(教育)																																																																															
第 10 回	6 月 28 日	特別講演	水田善次郎	(名誉教授)																																																																															
第 11 回	7 月 5 日	特別講演	北川 常廣	(名誉教授)																																																																															
第 12 回	7 月 12 日	長崎	近藤 寛	(教育)																																																																															
第 13 回	7 月 19 日	長崎	近藤 寛	(教育)																																																																															
第 14 回	7 月 26 日	長崎	近藤 寛	(教育)																																																																															
第 15 回	8 月 2 日	特別講演	福永 博俊	(理事)																																																																															
<p>授業内容</p> <p>1. 長崎</p> <p>長崎県には4億年前の岩石から雲仙岳の噴火による溶岩の流出など、長い間に多様な地質が形成されている。それらの地質は長崎変成岩（西彼杵変成岩類）、新生代には伊予島層群から野島層群などの堆積岩類や松浦玄武岩類、有田流紋岩類、長崎火山岩類などの火山岩がある。これらを説明する。</p> <p>長崎県の地質に関係して石炭、採石などの建設用石材、陶石などが利用されてきた。これらの資源について考える。また、長崎県の化石、鉱物などについて説明する。</p> <p>1) 長崎県の地質と地史</p> <p>長崎県における地質の種類と分布、地史を説明する。説明では県内各地の地質、地形、災害、資源、化石と鉱物などを理解する。</p>																																																																																			

2) 長崎県における地質資源

石炭は長崎県内では資源としての利用がないが、石炭資源の分布、石炭の採掘の歴史、炭鉱の史跡としての活用、石炭を利用する火力発電などを説明する。

波佐見や佐賀県有田地区の陶石の産出と利用について説明する。真珠岩の利用についても説明する。

3) 長崎市内の地質、石材の利用

長崎市内と周辺での地質が露出するのは、崖、川床などで少ないが、小・中学校、高校などの教材として利用について説明する。また、石垣、建築用資材、石碑などでの石材の利用について解説する。

長崎大学内でのいろいろな石材の岩石についても説明する

2. 平和

第1回 広島と長崎について

第2回 戦争と平和について

第3回 核時代の死と生について

3. 海洋と文化

漁業は海洋生態系の高度利用技術であると同時に海に囲まれた我が国特に島嶼・半島地域の産業基盤としてまた我が国独自の食文化と地域文化の継承と発展に深く関わってきた。また、本県は海を通じた異文化交流の窓口として特異的役割を果たした。この講義では漁業という諸君にはどちらかといえばなじみの薄い分野から、海洋と文化との関わりについて学ぶ。

第1回 長崎の漁業の特徴

第2回 長崎各地の漁業と漁業にまつわる歴史・文化遺産

第3回 海道を通じた異文化との接点長崎

毎回の講義で「受講シート」を配付し講義の理解度確認ならびに疑問点・要望について問いかけると同時に受講態度の判断材料の一つとするので真摯な態度で記載すること。

4. 予習・復習に関する指示

主題について講義中に示唆された書籍・映像・資料等を読む・見る・聞く。場所や遺構を歩く。会える人々には可能な限り会って対話を試みる。そして、友だちと話し合うことをすすめたい。

各講義担当者へ質問等がある際には、それぞれ以下の連絡先を利用してください。

高橋 shin-tak@net.nagasaki-u.ac.jp

近藤 kondo-h@net.nagasaki-u.ac.jp

山口 ayutrap@net.nagasaki-u.ac.jp